

第16回 ちゅうでん教育振興助成（平成28年度）

報告書資料 支援-18

学校名・団体名	大仙市立平和中学校
HPアドレス	<a href="http://www.edu.city.daisen.akita.jp/~km-heityu/">http://www.edu.city.daisen.akita.jp/~km-heityu/</a>
コース	学校支援
活動・研究 テーマ	絆をつなぎ 「たくましく生きぬく力」を育む防災教育
<p>〈活動・研究の意義、目的〉</p> <p>岩手県大槌町吉里吉里地区と秋田県大仙市神岡地区の交流，及び「攻めと守りの防災教育」により，たくましく生きぬく力，他を思いやる心，社会で役立つ力を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・被災地の復興の状況を知ること，ふるさつを見つめ直す機会とする。</li><li>・被災地の方々との交流を通して，支援や共生の在り方を考える機会とする。</li><li>・避難所開設訓練を通し，地域の防災について考え，力となれる生徒を育成する。</li><li>・個人と集団との関わりを大切に，集団の一員として活動できる能力を養う。</li></ul>	

## 1 はじめに

震災からまもなく6年、その記憶はまさに風化の一途をたどっている。千年に一度と言われる震災を子どもたちにどう伝えさせるか、そのことによって子どもたちの心に何を残せるか、それが震災以降、続けてきた本校被災地交流の根底にある。

被災地を訪問してにぎやかにふれ合ってくるだけでなく、訪問によって子どもたちが自分の生活や環境を振り返り、今、同じ時を生きる者として、まだまだ苦難を強いられている方々に何が必要か、何ができるのかということを考える機会とすることが大きなねらいである。

大切な人や物を失ってしまった方々に、私たちが今できることは何かを実行に移していくことで、私たちもまた大きな教えを得ることができたと考えている。

## 2 活動内容

- ・平成28年 7月 3日 第4回避難所開設訓練
- ・平成28年 7月12日 生徒会執行部による被災地交流視察（岩手県大槌町吉里吉里地区）
- ・平成28年 8月 6日 鉄クズ古紙回収ボランティア（大仙市神岡地域）
- ・平成28年 9月 9日 第3回ちゅうでん協賛復興支援夢花火打ち上げ ※教育振興助成金を活用
- ・平成28年10月 9日 学校祭 被災者招待交流集会
- ・平成28年10月21日 第5回大槌・神岡交流グラウンドゴルフ大会

※当初、花火打ち上げを9月8日、グラウンドゴルフ大会を9月10日に予定していたが、岩手県沿岸に台風13号が変化した低気圧が接近したために、上記の期日に日程を変更して活動を行った。

## 3 活動内容の詳細と成果

被災した岩手県大槌町吉里吉里漁港岸壁から打ち上げた慰霊と鎮魂、交流の象徴である復興支援夢花火に教育振興助成金を活用させていただき、以下の6点について成果を上げることができた。

- (1) 18もの創造花火を打ち上げることができた。被災地支援を続けてきた本校生徒の熱い思いや神岡地域の方々の本事業に対する熱意を感じていただくことができた。
- (2) 花火打ち上げにたくさんの感謝の言葉をいただいた。大槌町の議会副議長や教育委員が大会運営する生徒に歓迎の言葉や励ましをしてくれた。
- (3) 花火打ち上げのための鉄クズ古紙回収ボランティアに、神岡地域のたくさんの方々の協力をいただいた。花火打ち上げの運営には、PTAからも協力をいただくことができた。被災地交流活動が地域に浸透し、学校の教育活動への理解と協力が高まっている。
- (4) 吉里吉里地区には、震災後、「愛する故郷の為に逆境に立ち向かおう」との志のもと若手商業者が中心となってつくられた“はまぎく若だんな会”がある。若だんな会の方々が花火大会の放送設備の設置や消防、誘導を担当してくれた。また、学校祭に来ていただき、三陸の海産物が入った磯ラーメンの屋台は行列ができるほどの賑わいを見せ、焼き牡蠣や大槌町のお菓子も販売し、大好評であった。
- (4) 神岡地区と吉里吉里地区双方の地域自治会、保護者と“若だんな”レベルで交流が進み、さらに活発化する様相を見せている。
- (6) 大槌・神岡両地域の方々の協力を得て、本事業を成功裏に行うことにより、生徒は、大きな成就感、達成感を味わうことができた。本校の生徒の自己有用感を高めることにつながっている。

## 4 結びにあたって

本校の「攻めと守りの防災教育」により、本校生徒は命の大切さや今生きていることの素晴らしさ、当たり前前のが当たり前前のできる事のありがたさを再認識する機会となり、改めて「ふるさと神岡」のよさやありがたさを深く見つめ直すことができた。花火打ち上げに協賛いただいた公益財団法人ちゅうでん教育振興財団に厚く御礼を申し上げたい。